

# 千寿本町小だより

7月号  
令和5年6月30日(金)  
足立区立千寿本町小学校  
校長 増田 好範

## 元気があれば なんでもできる!

副校長 澤 剛一郎

この言葉を、運動会の2週間前の全校朝会で子供たちに紹介しました。プロレスラーで、国会議員でもあったアントニオ猪木さんの有名な言葉です。この言葉を紹介した理由は、運動会の2週間前の月曜日の朝、きっと週末の疲れが出たり、連日の運動会の疲れがたまったりしている子供が多いだろうから元気付けようと思ったことと、連日の運動会に向けて一生懸命、そして、元気よく練習に取り組む子供たちから私たち教職員が元気をもらっていることを伝えたいと思ったからです。そして、運動会を成功させるためには元気であることと「心一つにすること」も大切であると話し、みんなで心一つに最後は全員で「1、2、3、だーっ!!」と叫んで朝会のお話を終えました。その後、私を見掛けた1年生の女の子がニコニコしながら「元気があれば?」と声を掛けてきたので「なんでもできる!」と返してあげたり、1年生の男の子が「副校長先生っ!! 1、2、3、どーっ!!」と叫んできたので『どーっ!!』じゃなく『だーっ!!』だよ。」と笑いながら教えてたりすることがありました。また、「ぼくね、元気があればなんでもできるって、本当のことなんだっていう人を見たことがあるよ。だって、その人、いつも元気だからなんでもできていもん!」と教えてくれた1年生の男の子もいました。令和の時代に生きる子供たちの心にもしっかりと響く「昭和の時代に生まれたアントニオ猪木さんの『元気があれば なんでもできる!』」の言葉の力とアントニオ猪木さんの偉大さを改めて感じました。

そして、台風2号と大雨で1日延期となりましたが6月4日(日)に無事に終わることができた運動会では、『全力で 心を燃やし 大決戦』のスローガンの下、元気よく走り、踊り、歌い、応援する子供たちの姿や生き生きとした表情、そして、笑顔から、たくさんの元気な力を与えられた保護者や地域の皆様も多かったことと思います。運動会の円滑な運営のための入替制へのご理解とご協力、テントの提供と設営、後片付け、そして、熱いご声援と励ましのお言葉…子供たちが元気に活動することができたのは、今回のように保護者や地域の皆様の温かい支えのおかげであることを改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいになった運動会となりました。本当にありがとうございました。

運動会が終わると、子供たちは、水泳の学習が始まりました。低学年にとって初回となる15日(木)は、私もプールの中に入りました。2年生を見たときは「やっぱり去年よりもできていることが増えて成長したなあ。」と感心し、本校のプールに初めて入る子供が多い1年生を見たときは「プールの約束を一生懸命覚えようとして、頑張ってる、えらいなあ。」と感心しました。そして、1年生にも2年生にも、プールに入ることが苦手な子がいましたが、自分なりにできるところまでやってみようとする姿にも感心しました。

アントニオ猪木さんの「元気があれば なんでもできる!」の言葉には、続きの言葉があります。

### 元気があれば なんでもできる!

この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ 危ぶめば 道はなし

踏み出せば その一足が 道となる 迷わず行けよ 行けばわかる

いくぞーっ! 1、2、3、だーっ!!

踏み出せばその一足が道となる 迷わず行けよ…まずは、やってみる!…プールでも「元気があれば なんでもできる!」「元気があれば 泳げるようになる!」…とプールの時間が苦手な子にとっても、水の中でできていることが増えて楽しく学習することができるよう指導していきます!

# 運動会を終えて

体育主任 片倉 みなみ

台風が明け、朝から強い日差しが照り付ける中、待ちに待った運動会が始まりました。

『全力で 心を燃やし 大決戦』のスローガン通り、今年の運動会は一人一人が全力を出し切り、大決戦のもと終え、心に残る熱い運動会となりました。今年は去年に比べて競技数が増えたり、本町小伝統の「たまごっち玉入れ」が復活したりと、コロナ禍前の運動会の種目に近付いた形となりました。

表現ではどの学年も、練習した成果を出し切り、自分たちの色をはっきりと出し、素晴らしい姿を見せてくれました。それぞれの学年の子供たちの終わった後の達成感に満ちた笑顔が印象的でした。係活動では、高学年の児童が裏方としてきばきと動き、まさに本町小の『縁の下の力持ち』の活躍が見られました。様々な場面で子供たちの頑張りをご覧いただけたことと思います。

そして、子供たち同様に運動会を成功に導いてくださったのが、PTA 役員を始めとした保護者の皆様です。観覧する保護者の方も、譲り合いマナーを守って気持ちよく応援していただいたことに心から感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動をよろしく願います。

## 本町タイムを通して

学力を伸ばすかしこくプロジェクト 小笠原 孝文

本校では、週に 3~4 回、始業前の 8 時 20 分~35 分までの 15 分間を本町タイムと位置付け、以下の活動を行っています。

### ①本町タイムの最初は、「姿勢タイム」から

8 時 20 分からの 1 分間（音楽が流れている間）、背筋を伸ばして良い姿勢を保ちます。体幹を鍛えると同時に、落ち着いて学習に取り組めるよう心の準備を行います。

### ②3 つの学習で学力・体力の向上

教科は、国語・算数・体育があります。国語は、漢字練習や本校の特色である「芭蕉タイム」で俳句作りなどを行っています。作った俳句は校内掲示だけでなく、コンクールにも応募しています。算数では、A I ドリル等を使い、学力の定着に励んでいます。A I ドリルはその場で答えが分かり、基礎的な内容から応用問題まで、個々に応じた問題を進めていきます。体育では、走ることや跳ぶことといったテーマを月ごとに定め、児童が運動に親しみをもてるような活動に取り組んでいます。（1年生のA I ドリルは、後期より使用予定）短時間ではありますが、年間を通して学習面や体力面の向上につなげています。